

第59号【2010/3/29 発行】

発行者：昭和大学横浜市北部病院

巻頭言

「ロコモティブシンドローム」 ～運動器症候群～ 整形外科 准教授 中村 正則

病院からのお知らせ

医師の配属・異動・退職

診療統計

外来担当表

イベント情報

感染対策講演会

患者さまへのお知らせ・お願い

ロビーコンサート

会計前テレビモニター設置について

ロコモチェックで思いあたることはありますか？



ひとつでも当てはまれば、ロコモである心配があります。
今日からロコモーショントレーニング(ロコトレ)を始めましょう！

巻頭言

「ロコモティブシンドローム・・・運動器症候群」



整形外科

准教授

中村 正則

みなさんは、健康診断や人間ドックなどで血圧、血糖値やコレステロールなどの検査を行って、ご自身の身体の中のことについては関心が高いと思います。高血圧の基準は、収縮期血圧140mmHgまたは拡張期血圧90mmHg以上と設定されています。早朝空腹時の血糖値の基準値は70～110mg/dlである。血清総コレステロールは220mg/dl以下が基準値である。これらはさらに詳細な分類はあるようですが、これらの評価は数値で見ることができるので関心を持ちやすいと思います。ところが、身体運動に関わる骨、筋肉、関節、神経などの運動器の機能チェックは数値で表すことができません。人間は年齢を重ねると内的機能が衰えるのと同じように、外的機能、つまり運動器も衰えていくものです。そこで内的機能チェックを行うように、運動器の機能チェックも行っておきたいのです。

現在の高齢化社会では、運動器の障害が増加しています。運動器障害は50歳以降に多発し、ピークは70歳代と言われています。高齢化で長期間運動器を使い続けることでの運動器の障害のために、要介護になっていたり、要介護になる危険の高い状態のことをロコモティブシンドロームと言います。ロコモという言葉には「運動のとか、機関車」という意味がありますが、骨、関節、筋肉などの人間を動かしてくれる働きが衰えることとらの中での自立度が低下して、介護が必要になったり、寝たきりになる可能性も高くなります。ロコモの徴候には、1.痛み 2.可動域制限 3.変形 4.筋力低下 5.バランス力低下があります。これらは前述の血液検査など数値で

客観的な評価ができるものではありません。慢性疼痛が転倒リスクを増加させるという報告もあり、米国では転倒が高齢者の死亡原因のトップ10に入っており、毎年190億ドル超が費やされているようです。

そこで、ロコモティブシンドロームチェック(ロコモチェック)をして自分の運動器について理解していきましょう。ロコモチェックには7項目あります。片脚立ちで靴下がはけない。家の中でつまずいたり滑ったりする。階段を上るのに手すりが必要である。横断歩道を青信号で渡りきれない。15分くらい続けて歩けない。2kg程度の買い物(1ℓの牛乳パック2個程度)をして持ち帰るのが困難である。家のやや重い仕事(掃除機の使用、布団の上げ下ろしなど)が困難である。この項目の中で一つでも当てはまれば、ロコモである心配があります。

(この7つの項目のイメージ図は、表題上部に挿入しているイラストです)

自分の運動器がうまく働いているか、長く働けるか、ロコモチェックを行って、ロコモにならないようにロコモーショントレーニング(ロコトレ)を行いましょ。では、ロコトレの方法を教えましょ。

その1.開眼片脚立ち;片脚を床に着かない程度に上げます。この際、転倒しないように必ずつかまるものがある場所で行いましょ。左右1分間ずつ、1日3回行いましょ。

その2.スクワット;椅子に腰かけるように、お尻をゆっくり下ろします。その位置からまた立ちあがります。深呼吸をするペースで5-6回繰り返します。これを1日3回行いましょ。お尻を下ろし過ぎないようにしたり、机などを支えに使ったりして転倒しないようにしましょ。

その3.その他のロコトレとして、ストレッチ、関節の曲げ伸ばし、ラジオ体操、ウォーキング、各種スポーツなどがあります。

皆さまの運動器の障害予防のためにロコモティブシンドロームについて述べました。ロコモは数値で評価され、薬で改善されるものではありません。ロコモ予防のために、前述の徴候(ロコモチェック)を自分でチェックし、自身で積極的にトレーニング(ロコトレ)をすることを啓発いたします。

病院からのお知らせ

呼吸器センター中島宏昭教授、病理診断科塩川 章教授がこの3月31日をもって、定年退職されます。お二方、ともに北部病院が開院した平成13年4月より、それぞれの診療科の責任者として務められて来られました。来年度4月1日より、当院客員教授として診療のお手伝いをいただきます。中島教授と塩川教授より、ひとこと、いただきました。



中島 宏昭教授（呼吸器センター） 前列中央

北部病院の初代院長であった黒川高秀先生の奥様から、先生が亡くなられる直前の御言葉を伺いました。「別れの時が来ました。私は何と幸せ者だったのでしょう。ありがとう、ありがとう。さようなら、さようなら。」事故に遭われて6年間ほどほとんど体を動かすことのできない状態で、指で文字盤をさし奥様が文章にされていたそうです。私は定年で別れの時を迎えましたが、やはり「何と幸せ者だったのだろう」と思います。呼吸器センターのスタッフは仲が良く、誠実で、医学と医療に燃えている人たちでした。毎朝のカンファレンスではユーモアのある会話が若い研修医の緊張をほぐしていました。病棟も外来も看護師さんは目の回る忙しさなのに、忙しさで目のつり上がった私に笑顔を向けてくれました。他科のスタッフ、リハビリ、検査室、放射線科、栄養科、事務の皆さん、守衛さん、そして日夜病院をきれいにしてくださっていた皆さん、本当にありがとうございました。

黒川先生はお元気な頃、「病気と体の不具合を背負って生きることは大変なことです。その患者さんへの尊敬の念を忘れないように」とおっしゃっていました。医師として私はその患者さん方から多くのことを学ばせていただきました。心から感謝しております。終わりに北部病院のますますの発展を祈ります。



塩川 章教授（病理診断科） 前列中央

診断業務が好きでコンピュータが得意であったことから北部病院病理部門を担当することになり、診療科名については初代黒川病院長の提言でシンプルに病理科と決まりました（最近になり改称）。

準備がはかどらず機器、備品やシステムの設計などが開院に間に合うのかと危惧しましたが技師さんたちの絶大な努力のおかげで無事に開院を迎えることができました。当初は患者数も少なく、TVドラマの撮影ができるほど病院全体がノンビリしていましたが、すぐに検体数はウナギ登りで増加して忙しくなりました。

開院時は大学病院としてはこぢんまりとしており、その分だけ臨床科との距離が近く親密に仕事を行えたように思います。これまで必ずしも平坦な道ではありませんでしたが、臨床各科と円滑な関係を築き、迅速で正確に診断し確実に伝えるための手順を組み、一定の成果を挙げられたと自負しています。

私の無理な注文を聞き入れ邁進された病理部、病理診断科の諸君諸嬢や院内各部署、様々な援助していただいた病理学教室や藤が丘病院の方々にはいくら感謝しても尽きません。

医師の配属・異動・退職

異動・退職医師

【～3/31】

【長期出張】

小林 泰俊（消化器センター）

【転出】

川原 昭久（整形外科 藤が丘病院整形外科へ）

保坂 浩臣（皮膚科 医学部皮膚科学教室へ）

診療統計

2010年1・2月統計データ（ ）内は1日平均

診療実日数 入院・・・31日(1月)・28日(2月) 外来・・・23日(1月)・日(2月)

	外来患者数	入院患者数	救急搬送数	手術件数
1月	30,727人(1,336.0人)	16,794人(541.7人)	345件(11.1件)	541件(28.5件)
2月	29,574人(1,285.8人)	16,071人(574.0人)	262人(9.4人)	602件(31.7件)

外来担当表

外来予定は都合により変更する場合がございますのでご了承ください。

平成22年4月1日改定(案)

	月		火		水		木		金		土
	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前
呼吸器センター	鹿間裕介(初) 笠原慶太(初) 北見明彦(再)	笠原慶太(再) 澁谷泰弘(再)	井上七重(初) 笠原慶太(初) 鹿間裕介(再)	井上七重(初) 笠原慶太(初) 澁谷泰弘(再)	神尾義人(初) 鹿間裕介(再) 北見明彦(再)	鹿間裕介(再) 北見明彦(再)	笠原慶太(初) 鹿間裕介(再) 神尾義人(再)	笠原慶太(初) 鹿間裕介(再) 神尾義人(再)	北見明彦(初) 井上七重(再)	井上七重(再)	医局員(初診)
消化器センター	医局員 林 武雅(予)	大塚和朗 出口義雄 小形典之 山村冬彦	田中淳一 井上晴洋 小鷹紀子 細谷寿久(限)	井上晴洋 井上晴洋 小鷹紀子 細谷寿久(限)	和田祥城 若村邦彦 若村邦彦 遠藤俊吾 日高英二 日高英二	和田祥城 若村邦彦 若村邦彦 遠藤俊吾 日高英二 日高英二	里館 均 里館 均 医局員 池原伸直 池原伸直	里館 均 里館 均 医局員 池原伸直 池原伸直	大塚和朗 春日井尚 春日井尚 医局員 宮地英行 宮地英行	大塚和朗 春日井尚 春日井尚 医局員 宮地英行 宮地英行	医局員 遠藤俊吾 遠藤俊吾
循環器センター	磯村直栄 星本剛一	落合正彦 山本明和	落合正彦 山本明和	落合正彦 山本明和	小原千明 葉師寺志幸	小原千明 葉師寺志幸	荒木 浩 藤倉寿則	荒木 浩 藤倉寿則	芦田和博 御子柴幸(2)	芦田和博 御子柴幸(2)	医局員 斎藤重三
メンタルケア(初)	堀 宏治 (精神全般 認知症)	堀 宏治 (物忘れ初診)	板垣太郎 富岡 大	板垣太郎 富岡 大	工藤行夫 (精神全般 統合失調症)	工藤行夫 (精神全般 統合失調症)	西岡玄太郎 西岡玄太郎	西岡玄太郎 西岡玄太郎	吉益晴夫 吉益晴夫	吉益晴夫 吉益晴夫	伊藤篤志 (心臓血管外科)
メンタルケア(再)	富岡 大	富岡 大	青木麻梨	青木麻梨	堀 宏治	堀 宏治	吉益晴夫	吉益晴夫	工藤行夫	工藤行夫	菊地 優
メンタルケア(再)	板垣太郎	板垣太郎	石部 稔	石部 稔	西岡玄太郎	西岡玄太郎	伊川太郎	伊川太郎	田村利之	田村利之	
内科(22-5)	高橋 健 (内科腎臓)	高橋 健 (内科腎臓)									
内科(23-2)	山本真寛 (内科)	山本真寛 (内科)	土屋静馬 (内科)	土屋静馬 (内科)	菊嶋修示 (循環器不整脈)	菊嶋修示 (循環器不整脈)	土屋静馬 (内科)	武重由衣 (内科)			菊嶋修示 (循環器不整脈)
内科(23-3)	衣笠えり子 (内科腎臓)	福井俊哉 (記憶認知)	戸嶋洋和 (内科)	戸嶋洋和 (内科)	衣笠えり子 (内科腎臓)	衣笠えり子 (内科腎臓)	坂下暁子 (内科血液)	坂下暁子 (内科血液)	中村裕紀 (内科神経)	川崎仁志 (内科神経)	医局員
内科(23-5)	坂下暁子 (内科血液)	坂下暁子 (内科血液)	福井俊哉 (内科神経)	福井俊哉 (内科神経)	三代川章雄 (内科消化器)	吉田典世 (内科)	福井俊哉 (内科神経)	福井俊哉 (内科神経)	福井俊哉 (内科神経)	福井俊哉 (内科神経)	三代川章雄 (内科消化器)
内科(25-1)	井上 学 (内科神経)	井上 学 (内科神経)	小林功治 (内科)	小林功治 (内科)	井上 学 (内科神経)	井上 学 (内科神経)	和田幸実 (内科)	和田幸実 (内科)	滝西安隆 (内科)	滝西安隆 (内科)	大野恭史 (内科)
内科(25-2)	井上 稔 (内分泌・代謝)	井上 稔 (内分泌・代謝)	竹島亜希子 (内科)	竹島亜希子 (内科)	木村 聡 (内科・感染症)	木村 聡 (内科・感染症)			小林功治 (内科)	小林功治 (内科)	医局員
内科(25-3)	田口 進 (内科消化器)	成島道昭 (内科)	和田幸寛 (内科)	中山文義(腎) (第1火休診)	田口 進 (内科消化器)	田口 進 (内科消化器)	田口 進 (内科消化器)	田口 進 (内科消化器)	竹島亜希子 (内科)	竹島亜希子 (内科)	渡邊浩之(1,3 (内科))
内科(25-5)	荻原 徹 (糖尿病、内分泌)	荻原 徹 (糖尿病、内分泌)	嶋田 顕 (内科腫瘍)	嶋田 顕 (内科腫瘍)	荻原 徹 (糖尿病、内分泌)	荻原 徹 (糖尿病、内分泌)	嶋田 顕 (内科腫瘍)	嶋田 顕 (内科腫瘍)	荻原 徹 (糖尿病、内分泌)	荻原 徹 (糖尿病、内分泌)	荻原 徹 (糖尿病、内分泌)
内科(25-6)	伊東友弘 (内科腫瘍)	伊東友弘 (内科腫瘍)	山崎貴博 (内科神経)	大野恭史 (内科)	女性専門外来 (予約のみ)	滝西安隆 (内科)	緒方浩顕 (内科腎臓)	成島道昭 (内科)	伊東友弘 (第4休診 (内科腫瘍))	伊東友弘 (第4休診 (内科腫瘍))	緒方浩顕 (内科腎臓)
内科(25-7)	宮下耕一郎 (内科)	宮下耕一郎 (内科)	辻 正富 (糖尿病、内分泌)	辻 正富 (糖尿病、内分泌)	伊東友弘 (内科腫瘍)	伊東友弘 (内科腫瘍)			伊藤英利 (内科腎臓)	伊藤英利 (内科腎臓)	辻 正富 (糖尿病、内分泌)
小児科	梅田 陽 神谷外来	梅田 陽 神谷外来	梅田 陽 乳児検診	梅田 陽 乳児検診	北澤重孝 アレルギー-外来	北澤重孝 アレルギー-外来	梅田 陽 成育外来	梅田 陽 成育外来	梅田 陽 乳児検診	梅田 陽 乳児検診	三輪奇・上松偶
小児科	大戸秀恭 予防接種	大戸秀恭 予防接種	藤巻孝一郎 アレルギー外来	藤巻孝一郎 アレルギー外来	大戸秀恭 腎臓外来近国 (2,4)・辻[1,3]	大戸秀恭 腎臓外来近国 (2,4)・辻[1,3]	澤田まどか 心臓外来	澤田まどか 心臓外来	藤巻孝一郎 アレルギー外来	藤巻孝一郎 アレルギー外来	澤田(奇) 西岡(偶) 梅田(奇) 藤巻(偶)
小児科	北澤重孝	北澤重孝	血液内科(4) 心理相談	血液内科(4) 心理相談	北澤重孝 心理相談	北澤重孝 心理相談	井上真理 口腔発達(2,4)	井上真理 口腔発達(2,4)	大戸秀恭 上村茂(心臓)	大戸秀恭 上村茂(心臓)	鈴木孝明(奇) 医局員(偶)
小児外科	鈴木孝明	鈴木孝明	大橋祐介	大橋祐介	鈴木孝明	鈴木孝明	心理相談	大橋祐介	鈴木孝明	鈴木孝明	鈴木孝明(奇) 医局員(偶)
皮膚科(初16-3)	杉山美紀子	杉山美紀子	宋 寅傑	宋 寅傑	上岡なぎさ	上岡なぎさ	杉山美紀子	杉山美紀子	宋 寅傑	宋 寅傑	医局員
皮膚科(再16-1)	宋 寅傑	宋 寅傑									
皮膚科(再16-2)	上岡なぎさ	外科手術	上岡なぎさ	外科手術	医局員	外科手術	医局員	外科手術	上岡なぎさ	外科手術	医局員
皮膚科(再16-2)	杉山美紀子	杉山美紀子	奥村恵子	奥村恵子	奥村恵子	奥村恵子	奥村恵子	奥村恵子	杉山美紀子	杉山美紀子	
外科	中村明央 (第3以外)	中村明央	杉本啓一(3)	杉本啓一(3)	新井一成	新井一成	新井一成 井関雅一(偶) 岩波正英(3)	新井一成 井関雅一(偶) 岩波正英(3)	中村明央	中村明央	岩波正英 (第2,4) 中村明央(奇) 新井一成(偶予)
外科	福成信博	福成信博	山崎智巳	山崎智巳	兼坂 茂 (予約のみ)	兼坂 茂 (予約のみ)	福成信博 (1,2,3,5)	福成信博 (1,2,3,5)	福成信博 (1,2,3,5)	福成信博 (1,2,3,5)	中村明央(奇) 柁澤由博(奇) 山崎智巳(偶)
外科	福成信博 (1,2,4初)	福成信博 (1,2,4初)									
形成外科	大塚尚治	ヒ・リッパ	【手術日】	【手術日】	小原英里	小原英里	手術日	手術日	大塚尚治 国井健太	大塚尚治 国井健太	国井(1,5)大塚(1,3) 小原(2,4)
緩和ケア(麻酔科) (22-6)	岡本健一郎 (事前予約制)	岡本健一郎 (事前予約制)									岡本健一郎 (事前予約制)
脳神経外科 (初再診)	小林信介(偶)	小林信介(偶)	池田尚人 (予約のみ)	池田尚人 (予約のみ)	【手術日】	【手術日】					医局員
脳神経外科	池田尚人 池田 (診断書外来)	池田尚人 池田 (診断書外来)	紹介状のみ(初)	紹介状のみ(初)	池田尚人	池田尚人	松本浩明	松本浩明	池田尚人	池田尚人	医局員
整形外科	医局員	逸見範幸 器具診 予約のみ	医局員(初)	川崎恵吉	医局員(初)	中村正則	医局員(初)	三雲 仁	医局員(初)	尾又弘晃	医局員
整形外科	米屋泰右	米屋泰右	三雲 仁	米屋泰右	逸見範幸 器具診 予約のみ	逸見範幸 器具診 予約のみ	三雲 仁	古梶(2,4)	逸見範幸	骨粗鬆症外来 (2,4)	医局員
整形外科	川崎恵吉	川崎恵吉	西山嘉信(予)	西山嘉信(予)	尾又弘晃	尾又弘晃	中村正則	松岡 彰	大下優介	大下優介	
産婦人科 初診(12-7)	佐々木康 (吉江/新城)	佐々木康 (吉江/新城)	高橋 諄	高橋 諄	高橋 諄	高橋 諄	小塚/安藤 (吉江正紀)	小塚/安藤 (吉江正紀)	小川公一	小川公一	医局員
産婦人科 産科(12-1)	新城 梓	新城 梓	小川公一	小川公一	佐々木康	佐々木康	荒川 香	荒川 香	吉江正紀	吉江正紀	
産婦人科 産科(12-6)	前田/遠武	前田/遠武	遠武/前田	遠武/前田	徳中真由美	徳中真由美	徳中真由美	徳中真由美	安藤直子	安藤直子	特殊診 予約のみ
産婦人科 婦人科(12-8)	小川公一	小川公一	佐々木康	佐々木康	吉江正紀	吉江正紀	高橋 諄	高橋 諄	新城 梓	新城 梓	特殊診 予約のみ
産婦人科 婦人科(12-6)	前田/遠武	前田/遠武	安藤直子	安藤直子	遠武/前田	遠武/前田	徳中真由美	徳中真由美	宮上 哲	宮上 哲	
泌尿器科 (初診11-1)	永田将一	永田将一	初診輪番	初診輪番	丸山邦隆 (予約のみ)	丸山邦隆 (予約のみ)	音藤克幸	音藤克幸	小川雄一郎 予約のみ	小川雄一郎 予約のみ	井上克己
泌尿器科 (再診11-3)	島田 誠	島田 誠	島田(女性外来 予約のみ)	島田(女性外来 予約のみ)	音藤克幸	音藤克幸	井上克己	井上克己	永田将一	永田将一	前田智子 予約のみ
泌尿器科 (検査11-5)	島田 誠	島田 誠	術後1ヶ月診	術後1ヶ月診							
眼科	岡和田英昭	特殊診 (岡和田)	小池正直	小池正直	特殊診 (岡和田)	特殊診 (岡和田)	後藤洋平	後藤洋平	小池正直	小池正直	特殊診(小池)
眼科	南 雅之	南 雅之	南 雅之	南 雅之	特殊診(南)	特殊診(南)	岡和田英昭	岡和田英昭	後藤洋平	後藤洋平	特殊診(後藤)
眼科	嶋田撰也	特殊診(嶋田)	岡和田英昭	岡和田英昭	嶋田撰也	嶋田撰也	嶋田撰也	嶋田撰也	嶋田撰也	嶋田撰也	特殊診(嶋田)
耳鼻咽喉科13-1	門倉義幸 (初診)	門倉義幸 (初診)	医局員 (初診)	医局員 (初診)	医局員 (初診)	医局員 (初診)	篠 美紀 (初診)	篠 美紀 (初診)	櫛橋幸民(再)	櫛橋幸民(再)	医局員 (初診)
耳鼻咽喉科13-2	山田良宣(再)	山田良宣(再)	鈴木美幸(再)	鈴木美幸(再)			門倉義幸(再) 2,4 予約のみ	門倉義幸(再) 2,4 予約のみ			
耳鼻咽喉科13-3	篠美紀(再)	篠美紀(再)									
耳鼻咽喉科 13-3					補聴器外来K 予約のみ	補聴器外来K 予約のみ			補聴器外来N 予約のみ	補聴器外来N 予約のみ	

放射線治療の外来日は、月火木金： 臨海第二医師です。

リハビリ科外来日は、第2,4水曜午後： 真野英寿医師です。

奇=偶数週

偶=偶数週 数字=診察日 週 限=限定

北部イベント

感染対策講演会

2月26日、院内感染対策委員会主催の講演会を開催しました。

感染対策の講演会は、実務で役立つ内容を学習する良い機会なのですが、内容が難しく、専門的なお話しに、参加者は講演内容を聞き漏らすまいとして必死にメモを取るといった開催がこれまで多くありました。

そこで、今回は開催企画にあたり、今までに無い、目で楽しく・聞いて面白い、かしまらない講演会を企画してみよう!!!と、計画を練りました。

女子サッカー“なでしこ JAPAN”でチームドクターを務められた山藤賢先生（昭和医療技術専門学校 学校長）をお招きし、『スポーツ選手の感染管理』というテーマでお話しいただきました。

海外遠征する際の注意点をはじめとし、実際に遭遇した遠征先の衝撃的なお国事情などをお話しいただきました。生水には注意するとよく言いますが、売られているミネラルウォーターすらも国によっては質の保障はなく、試しに日本に持ち帰り、水質検査をしたら、飲料水として認められる水質基準に達したものは、16%(6本持ち帰り、1本)であった、環境衛生面の整備されていない国への遠征前には、各種感染症ワクチンの接種をするなどのお話しをいただきました。

講演に使用されたスライドは、遠征先での選手や会場風景の写真で構成されており、まるでオリンピック写真館にいるようで、また選手権余談(イスラム圏選手の肌を隠す風習は試合時も例外ではなく、絶好のシュートタイミングでもペールが剥がれてしまうとシュートよりも身なりを整える事を優先させるなど)を加えていただき、本当に目で楽しく、聞いて面白い講演会でした。

また、選手の健康管理日誌やドーピング検査問診票、東アジア選手権でなでしこ JAPAN が優勝した時の金メダルや選手全員の直筆サインで埋め尽くされたユニフォームなど、オリンピックやワールドカップに関連した品々を展示いただき、会場に来た参加者の視線は座席を探す前に、「おお～、すげえ!!!」とテーブルに釘付けになっていました。



山藤先生(中央・スーツ姿)と参加者で記念撮影



金メダル
(東アジア選手権)

患者さまへのお知らせ・お願い

ロビーコンサートのお知らせ

- ◆ 4月 22日(木) 遠藤 美香さん (フルート演奏会)
- ◆ 5月 28日(金) 渡辺 静さん・桐原 あけみさん (ピアノ・バイオリン演奏会)

会計前ロビー(中央棟1階)にて19:00より開催いたします。30分間の演奏会です。是非、お越しください。コンサート予定表は、各病棟掲示板および会計前ロビーにて掲載しております。曲目につきましては、コンサート当日、会計前ロビーにて掲示いたします。ご確認ください。

会計前テレビモニター設置のお知らせ

会計前ロビー(中央棟1階)に、テレビモニターを2台(壁掛けタイプと可動タイプ)を設置いたしました。

現在は、壁掛けタイプで、NHK番組の放映をしております。

今後、NHKの放送だけではなく、昭和大学や北部病院の紹介、病院からのお知らせなどを放映できるよう準備を進めていく予定です。



編集後記

今年はめったに振らない雪が降ったり、気温がなかなか上がりず寒くて長い冬になってしまいました。

ある日、出勤途中で桜の花が咲いているのを見かけ、3月だから寒桜とは思いつつも、春が必ずやってくることを実感しました。3月は寒い日々には耐えつつ、来る春に期待もする希望の月と思います。

3月3日に入籍をした職員もあり、周囲は少しずつ春の準備が進んでいます。いいことも悪いこともリセットして春に希望をつなげましょう。

広報委員会 委員 三浦 宮子

北部病院だより 第59号

平成22年3月29日発行

発行責任者 田口 進(昭和大学横浜市北部病院長)

編集責任者 高橋 諄(広報委員会 委員長)

発行 昭和大学横浜市北部病院

〒224-8503 横浜市都筑区茅ヶ崎中央 35-1

電話 045-949-7000(代表)

URL: <http://www10.showa-u.ac.jp/~hokubu/>

北部病院ホームページにて最新・過去の『病院だより』が参照できます。